

いづか武都議選候補から推薦依頼がありました

【いづか武氏の推薦理由】

次期都議選で大田区からの挑戦を表明しているいづか武氏から、都民の会の推薦依頼を受けております。私と彼の出会いは1994年10月に開講された大前研一氏主催の「一新塾（1期）」ですが、その後の彼は大前氏の都知事選応援、一新塾（2期）、都議養成科と進む過程で、巨額の財政赤字問題等を抱える今の日本をこのままにはしておけないとの切なる思いを抱くに至りました。

29歳という若さで既成政党の公認無しのチャレンジは、低投票率、組織票有利の選挙戦では苦戦を強いられることになるでしょう。しかし、都政の真の改革には、まさに彼のような純粋な情熱と優れた知性を併せ持つ若者が必要なのです。彼の政策は、間違いなく彼の信念です。都民の会の推薦候補とすることにつき、皆様のご協力、ご支援を衷心より願います次第です。

大田区・品川区エリアマネージャー 神村知行

【いづか武の政策（抜粋）】

1. 先進的で高度な行政サービス

私は世界最大の経営コンサルタント会社であるアンダーセンコンサルティングでさまざまな世界の政府の先進事例を学びました。アメリカや他の行政改革が進んだ国に比べて行政組織のリストラが進んでいない都政に先進的な企業のやり方を導入します。

○都有資産の売却、民営化、組織のスリム化を進め都債を返済

○縦割り組織の非効率を改善してニーズ別に組織の再編成

○都政に情報システム（グループウェア）を導入

○業務の外部委託、広域行政化、窓口サービス向上の為、都政のバーチャルガバメント化を推進

○徹底的な情報化と業務の効率化の為、都所有文書のオンライン化を促進

2. さまざまな混雑の解消

東京は人口密度が高く多くの人に合うにも関わらず、人間関係が希薄になりがちです。私はあまりにも無目的に多くの人と会いすぎることによって東京では「人間の価値」が低くなっていると感じます。東京では他人は電車のラッシュの一因にもなる邪魔な存在ですが田舎では貴重な話し相手です。人の価値を上げて「人を大切に作る社会」を作る為、様々な混雑を解消する提案を行います。

道路の混雑の解消：

○幹線道路の駐車違反取り締まりの優先順位付け

○公営駐車場の増設と駐車場に対する容積率基準の緩和

○信号システムの高度化の推進と無駄な赤信号の廃止

○開かずの踏み切りを立体化などで解消

○電車の混雑：

・在宅勤務の推進

・時差通勤を可能にする企業の勤務形態を支援

○住宅の混雑：

・住宅計画を一戸建て中心から集合住宅中心へシフト

・定期借地権などで未使用地などの土地の流動化推進

○人の混雑：

首都機能の多極分散化

3. 一人のできる公約

公約の中には良い提案であっても他の議員の意見をまとめなければできないものも多くあります。僕達NEXTは無所属・無党派。私たちの政策が他の議員にどう受け止められるか分かりません。日本、東京が進むべき方向性は政策として提案しますが、それをすぐに実行出来るかどうかは他党の議員の意見を聞かなくてはなりません。しかし、一人でもできることはあります。それを一人のできる公約として皆さんにお約束します。

○私黒塗りのハイヤーは使わず、普通のタクシーに乗ります。

○私は都のお金で都の海外視察には行きません。

○都議の力を利用して独自で都政を徹底的に調査しその結果をインターネットの私のホームページで独自に情報公開します。

○私は交通違反の揉み消しはしません。

4. 政治のレベルアップ

政治家はマスコミから馬鹿にされ、有権者からは悪者扱いされる存在です。私はそれではいけないと考えて政治家を目指しましたが、政治家になる為には「政策」「資金」「選挙」「人脈」など考えなくてはならないことがあまりにも多くあります。新人でこれらの条件がそろっている人にしか政治家への道がないとすればそれは問題ではないでしょうか？

私は政治家になる人をサポートするコンピュータソフトを、グループウェアを用いて作っています。これはもし私が選挙で失敗しても、後に続く人達にそのノウハウが役に立てば、私の選挙は無駄にはならないと思うのです。無駄にはしたくありません。私が当選した後には2年後の統一地方選挙で大勢の新人議員を擁立するためにこのノウハウを使います。

またさまざまな情報をNEXTとして共有し議員のレベルアップを図る為の電子情報システムを構築したいと思っています。先進的な企業ではこれらが現在ブームになっています。

政治家の間を繋ぐ電子情報システムをグループウェアを使って構築（既に実行中）

○新人議員養成ツールづくり

他国の政党とのコンピューターネットワーク作り
（英語による政策データベースの構築）